

中野こども病院ニュース

平成30年12月10日発行 第64号

中野こども病院から患者保護者の皆様へ“今知ってほしい”情報を発信します

嘔吐（もどし）や下痢の患者様は依然として多いですが
インフルエンザはまだまだです…



毎年多少前後はしますがこの時期になるとインフルエンザの患者様が増えてくるのですが今年は少ない状況です。まだまだ暖かい日が続いていますし、空気の乾燥もそれほどではないからでしょう。しかし園や学校で流行するとあっという間に広がりますので、予防接種やマスク、手洗いで備えましょう。

インフルエンザQ&A

Q.うつったらどれぐらいで発症しますか？

A.ウイルスが口や鼻から入ってきて症状が出るまでの時間を潜伏期間といいますが、インフルエンザウイルスは口や鼻の粘膜で直接増えていくので非常に早いです。1日から3日と考えられています。

Q.インフルエンザの検査ってどうやってしますか？

A.高熱やしんどさなど急激な発症、家族や周囲で流行していることから疑います。最近は診断キットがあるので、鼻汁を用いて調べます。ただし、ウイルス量が十分ないと陽性にでないので、発熱後12時間以上たってから調べるのがよいでしょう。

Q.薬は早く飲んだ方がいいですよね？

A.インフルエンザの薬はウイルスが増えていくのをブロックすることで効果が出ます。ですからウイルスが増えきってしまうまでに、具体的には発症後48時間以内に服用開始するのがよいでしょう。

Q.赤ちゃんにうつっちゃった。薬は飲めますか？

A.6か月以下の乳児はお母さんからの免疫もあるので、通常は薬は使わずに安静や水分補給などで対応可能です。



嘔吐や下痢症状の患者様が多いです！！

○嘔吐がひどいとき

吐いた物が気管に詰まらない様に顔を横向きにしてあげましょう。

○下痢がひどいとき

おしりふきでしっかり拭くよりも、シャワーで洗い流せばおしりは荒れにくくなります。

○水分や食事の摂らせ方

お子様が吐いたあとに欲しがるからといってすぐに水分を与えると、嘔吐を繰り返してしまい逆効果です。嘔吐してから30分から1時間は何も与えず、吐き気がおさまったらスプーン1杯の水からはじめ、少しずつの量を回数多く根気よくあげてください。与える水分としては経口補水液が有効です。食事は本人が欲しがるもので大丈夫です。

※吐き気止めの座薬を有効に使いましょう

嘔吐が何回も続くとお子様は体力をとんでも消耗します。グタッリして脱水も進んでしまいます。吐き気強い時に吐き気止めを使って、吐き気が落ち着いたら水分を少しずつあげてみましょう。本人がたくさん欲しがっても、絶対に少しずつです！！

当院の流行状況

インフルエンザの検出が始まりました！！

地域によっては流行が始まっているところもあるようです。現在主に検出されているのはインフルエンザA型です。

RSウイルスが検出されています。ピークは過ぎているようですが、まだ検出は続いています。

ノロウイルスが検出されています。



〒535-0022 大阪市旭区新森4-13-17
社会医療法人 真美会 中野こども病院
TEL: 06-6952-4771
<https://nakano-kodomo.or.jp/>



クリスマス



12月20日に病棟行事“クリスマス”を行います。
今年の製作は長靴型のかばんの飾りつけやリース作りを行います。



当院を受診される患者保護者様へ

- 駐輪場が病院北側にあります。自転車で来院の際はご利用ください。
- お車で来院される際は、病院南側の立体駐車場をご利用ください。病院受診時や面会時にも無料にご利用いただけます。詳細は常駐している警備員にお声かけください。近隣のご迷惑になりますので路上駐車は絶対におやめください。
- 病院本館東側に車寄せがあります。患者様の乗り降ろしや、入院時の荷物の運搬やお迎えなどにご利用ください。なお、長時間の駐車はご遠慮ください。
- 待合の椅子には限りがあります。子どもたちが座れないことがないように、混雑時は譲り合っておかけ下さい。少しでも待合に多くの患者様が座って頂けるよう、ご協力宜しくお願い致します。
- 当院は全館禁煙、敷地内も禁煙となっております。病院の外で喫煙されても煙が病院内に入ってくることもありますので、病院周辺での喫煙もご遠慮ください。また、たばこのポイ捨ても絶対にしないでください。病気で来ている子どもたちのためにもご協力よろしく申し上げます。
- 診察、検査、処置が終わるまで飲食はご遠慮ください。もどしたり、咳込みの原因になります。